



黒潮若手の会や老人クラブ、行政・学校・福祉関係者など、さまざまな分野から、昨年を上回る93人が集まりました。

第5回黒潮ふれあい交歓会

大方ライオンズクラブ主催「黒潮ふれあい交歓会」が1月22日にふるさと総合センターで行われ、各団体から集まった参加者が、異業種交流を図りました。

会では、大西勝也町長が、これからの黒潮町の人口ビジョンを見据えた上で、地方創生、総合戦略を推進していくために、黒潮町が一丸となって、取り組んでいくことの必要性について話をしました。その後、会食をしながら参加者同士で自由に交流。「普段会うことができない人に会えるので、毎年楽しみにしている」「黒潮町にかかわる人同士で意見交換ができて良かった」と好評でした。

あったかふれあいセンター「サテライトかきせ」からの贈り物

旧馬荷小学校で毎週月曜日に開催されているサテライトかきせ。1月11日の「かきせ」では、いつもは利用されている地域の皆さんが「今回は、私たちがお昼を作るから」と朝早くから鶏飯や煮物、酢の物、黒豆、にんにく葉入りの味噌汁などを作り、たくさんのお品を作りました。また、おやつには、手作りのぼたもちをいただきました。当日の参加者は30人。「毎回、楽しみにしている」という声をいただきました。

地域からの素敵な贈り物に心もおなかもいっぱい満たされました。



集落活動センター北郷大釜で「芋煮」をしました

梅の香りが漂い始めた2月7日、旧北郷小学校のグラウンドでは、大釜を使った「芋煮」が行われ、北郷地域から50人が参加しました。



材料は、地域の皆さんから提供され、具だくさんの芋煮が完成しました。大釜で炊き込んだ芋は熱々。青空の下、おむすびと手作り漬物も並び、楽しいひとときとなりました。また、芋煮ができあがるまでの時間は、「マイナンバー制度」についての学習会も行われ、参加者は熱心に聞いていました。



2015年度ヒューマン遊学が開催されました

1月26日、佐賀老人憩の家で2015年度ヒューマン遊学の第3講座を行いました。ヒューマン遊学では、地域に残る伝統的な料理や食文化を学ぶ講座などを年3回実施し、今回が最終回でした。

第3講座のテーマは皿鉢料理。夕方から参加者が集まり、講師の浜田佐恵さんから教わりながら料理を作りました。その後、レシピに沿って1品ずつ作り方を教わりました。出来上がった料理はみんなで食べ、楽しいひとときを過ごしました。

今回の参加者は11人。参加者から「伝統的な皿鉢料理の作り方を教わるのが良かった」「毎回、みんなで作って食べることが楽しんでいます」との声がありました。



先生の手本を見ながら盛り付けをしました。